

広報

社会福祉法人清豊福祉会
育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて

セバスト
ガチャヨウ号



Gosho Nursery And Children's Recreation Center



先月の子どもたち

秋空の下で
はい、チーズ！



No.270

12月号

2025



こども園便り 御所こども園

家庭教育セミナー **十一月八日**

福田麻希先生をお招きして、ベビーマッサージの講演を行いました。模型を見本にリラックスできるマッサージの方法を教えていただき、子どもたちはゆったりとした雰囲気の中、気持ち良さそうに過ごしました。また、先生や参加者同士で気軽に会話を楽しみ、和やかなセミナーになりました。



銀木犀と金木犀の香り

当園には、銀木犀と金木犀の木があります。十月に入ると、秋の訪れを告げる甘く濃厚な香りが漂い、「ああ、秋だなあ」と感じます。

ところで、皆さんには銀木犀と金木犀の香りの違いに気づいたことがありますか。銀木犀の香りは、金木犀に似ていますが、より控えめで上品、そして柔らかい香りが特徴です。




★校区文化祭★



学童クラブのお姉さんと5歳児さん、卒園した短大生と『カップス』を披露しました。緊張で表情が固い様子が見受けられましたが、地域の方に披露でき、とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
 (以上、主幹教諭 下窪)



★谷山ふるさと祭り★

鹿児島市南部最大のお祭り『谷山ふるさと祭り』は、おはら祭りの一環として始められた地域祭です。



給食便り

食育体験 ふりかけ作り

十一月十七日

普段、スーパーでは大根の葉は切り落とされた状態で売られています。

今回は、店頭ではあまり見かけない大きな大根葉を使って、ふりかけ作りに挑戦しました。子どもたちは、慎重に葉を細かく切つたり、水分がなくなるまで一生懸命炒めたりしました。

「こんなに美味しいふりかけ、初めて！」と、自分たちで作ったふりかけが給食に並ぶ日を楽しみにしています。

(以上、調理員 石原)



食の安心・安全

食事中の窒息事故を防ぐために

食事中は、どんな食べ物でも窒息の危険性があります。特に、ミニトマトやうずらの卵などの球形のもの、餅や白玉団子のような粘着性の高いもの、そして口の中でばらばらになりやすいブロッコリーやはき肉には注意が必要です。

こども園では子どもたちが安全に、そして食べやすくなるように、切り方や調理方法を工夫して提供しています。(以上、食育グループ 稲葉)



(以上、調理員 石原)

健康便り

健康に気をつけて、新年を迎えましょう

年末年始は、帰省や大掃除、初詣など、何かと慌ただしく過ごす時期です。健康管理や事故防止に十分気をつけ、以下のポイントに注意して過ごしましょう。

● 地域や帰省先の休日診療・救急診療の担当を確認しましょう。

● 保険証・医療証・母子手帳を携帯しましょう。

ご家庭でも、急な病院受診に備えておくと、より安心して新年を迎えるられます。

(以上、看護師 兼廣)



安全便り

安全意識を高めましょう

朝夕の薄暗い時間帯は、交通事故のリスクが高まります。以下のポイントを今一度確認してみましょう。

● 靴や鞄、衣服などに反射材をつけましょう。

● 横断歩道では、親子で手を繋ぎ、左右確認をして渡りましょう。

保護者の皆様も時間に余裕を持ち、車を発進させる場合は、周囲の確認をお願いします。



(以上、リスクコントロールグループ 山下)

児童クラブ便り 児童クラブ未来



永田川自然観察会



みかんがり

(以上、クラブ長 高崎)

十月二十五日に、五ヶ別府町のみかん農園でみかんがりを行いました。

今年は猛暑の影響による高温障害でみかんの出来が悪く、お土産は一人一キロまでという制限が設けられていきましたが、子どもたちはいろいろなみかんを味見しながら楽しい時間を過ごしていました。

翌週の十一月一日には、永田川の自然観察会を行いました。

かごしま環境未来館や鹿児島大学の学生の皆さんが来てくださり、永田川で捕獲した魚や、それを狙つて集まる野鳥について教えてくださいました。子どもたちは多様な生き物に興味を持つとともに、川に捨てられたゴミの多さにも驚いていました。

みかんがりや自然観察会を通して、子どもたちは『自分たちの周りの環境を大切にし、未来へつなげたい』という思いを一層強くしていました。

二年女子は八月に一名が転出し、現在は三名になりました。三人はとても朗らかで、おやつの時間も宿題の時間も仲良く並んでおしゃべりしながら、楽しそうに過ごしています。宿題をするときは、わからないところがあると助け合って、お互いに教え合っています。時にはおしゃべりが弾んで集中できないこともありますが、普段は真面目に努力しています。

最近ではダンスに興味を持ち、上級生のお姉さんたちと一緒に振り付けを覚えて踊る姿が見られ、とても微笑ましい場面が増えています。

また、製作も大好きで、三人で教え合いながら折り紙でいろいろなものを作ったり、プラ板をしたりする姿もよく見られます。

この時期は好奇心が旺盛で、他者との協力や助け合いの力が身につく一方、自己中心的な面が出てトラブルが増えることもあります。友だちとのトラブルや悩みを抱えているときは、周囲の大人がしつかりと気持ちを受け止め、安心して話せる時間を作ることがトラブルを乗り越える土台になります。子どもの自立心を尊重しながら、寄り添つて支えていきましょう。

(以上、放課後児童支援員 倉留)



羽ばたけ学童さん

もうどう犬ってどんな犬？

学童新聞

12月号

学校の総合の時間に「もうどう犬について調べました。」
①「もうどう犬ってどんな犬？」
もうどう犬というのは、目の不自由な人が安全に歩けるようになります。



ぼくの名前はデュオ。もうどう犬のお仕事が大好きで、楽しんでいるよ。

②「にわ」のほんたいにいるどうぶつはなあに？
③「す」を四本つていておみせは、なにやさん？・
④「すうらえんにいるえらいチョウはなあに？」
⑤「にわ」のほんたいにいるどうぶつはなあに？
⑥「す」を四本つていておみせは、なにやさん？・
⑦「すうらえんにいるえらいチョウはなあに？」
⑧「にわ」のほんたいにいるどうぶつはなあに？
⑨「す」を四本つていておみせは、なにやさん？・
⑩「すうらえんにいるえらいチョウはなあに？」



①「うわばきはいつもどこへはく？」
②「にわ」のほんたいにいるどうぶつはなあに？
③「す」を四本つていておみせは、なにやさん？・
④「すうらえんにいるえらいチョウはなあに？」
⑤「にわ」のほんたいにいるどうぶつはなあに？
⑥「す」を四本つていておみせは、なにやさん？・
⑦「すうらえんにいるえらいチョウはなあに？」
⑧「にわ」のほんたいにいるどうぶつはなあに？
⑨「す」を四本つていておみせは、なにやさん？・
⑩「すうらえんにいるえらいチョウはなあに？」



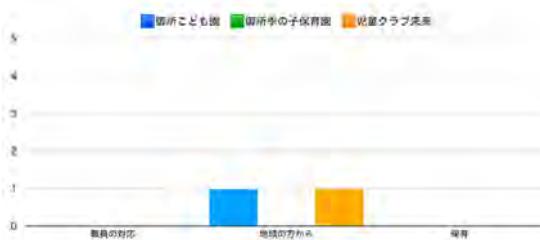
「クリスマス」二年ゆ月
イラストコーナー

記者 森山・一氏・宮原・馬籠

令和7年度上半期 意見・要望等報告会

親コラム

令和7年10月18日に第三者委員の先生をお招きし、上半期の意見・要望等報告会を実施しました。受付件数は法人全体で2件であり、内容はいずれも非常ベルを鳴らしたことに関する地域の方からのご意見でした。今後も法人全体で周知を徹底し、適切に対応してまいります。具体的な内容はホームページでもご覧いただけます。今後も保護者・利用者の皆様の声を真摯に受け止め、より良い福祉サービスの提供に努めてまいります。



地域の方との繋がり

御所こども園では、月1回の『移動おもちゃ図書館』と年2回の『家庭教育セミナー』を開催し、子育てへの不安を軽減したり、保護者同士が交流できる場を提供したりしています。また、町内会への行事の会場提供や、地域合同の避難訓練などを通して、地域との積極的な交流を図っています。

御所季の子保育園では、月1回の『こども食堂』を通して、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供し、保護者同士や地域の方とのつながりの場となっています。今後も、こうした地域の皆様との関わりを大切にし、良い関係づくりに努めてまいります。



家庭教育セミナー



移動おもちゃ図書館



こども食堂

(以上、保育向上グループ)

今月の コラム

Gosho Baby News

このページは、御所こども園や御所季の子保育園の0、1歳児の子どもたちの様子やお知らせ、そして子育てに関する様々な情報をご紹介するコーナーです！

指を動かすってこんなに大事

子どもにとって『指先を使うあそび』は、心と体の発達にとってとても大切な経験です。積み木を重ねたり、紙をちぎったり、粘土をこねたりする中で、手や指の細かな動きをコントロールする力が育っていきます。指先を動かすことは脳への刺激にもなり、集中力や思考力、創造力を育むきっかけにもなります。



洗濯ばさみあそび



ボタンあそび



積み木あそび



ビーズあそび

スプーンやお箸の使い方、ボタンの留め外しなど、生活の中で必要な動作の基礎には『手の巧緻性(こうせい)』が関わっています。園では、遊びを通して無理なく自然に手先を使う活動を取り入れています。



ご家庭でも、折り紙やシール貼り、洗濯ばさみ遊びなど、楽しい遊びの中で手や指をたくさん動かす経験を意識して取り入れてみてください。小さな動きの積み重ねが、子どもたちの成長をゆっくりと後押ししていきます。子どもたちが自分の手で「できた！」という喜びを感じ、自信や意欲へつながっていくように、温かく見守っていきましょう。



(以上、環境グループ)

保育園便り 御所季の子保育園



避難訓練（地震） 十月二十八日
地震を想定した避難・引き渡し訓練を実施しました。子どもたちは「地震です！」という合図とともに、素早く机の下に避難し、頭を守る姿勢をとることができました。職員も誘導や安全確認を丁寧に行い、引き渡しまでの一連の流れを通して、万が一に備えた対応を改めて確認しました。

朝の冷え込みが厳しくなり、冬の訪れを感じる季節となりました。手をこすり合わせて温めながらも、子どもたちは元気いっぱい外遊びを楽しんでいます。これから迎えるクリスマスや年明けの正月に心を躍らせながら、笑顔で一年を締めくくるよう、日々の生活を大切に過ごしていきたいと思います。



健康便り

寒い日の換気のコツ

冷たい風に冬の訪れを感じる季節になりました。気温差が大きく、空気の乾燥も進むため、風邪や感染症が流行しやすい時期です。保育園では、子どもたちが元気に過ごせるよう、毎日の手洗いとうがいを習慣化し、風邪予防に努めています。

ご家庭でも…

- ・外から帰つたらすぐに手洗いとうがいを行う
- ・十分な睡眠とバランスのよい食事で、体の抵抗力を高める
- ・室内の換気をこまめに行い、適度な加湿を心がけることで、ウイルスの繁殖を防ぐことができます。

体調の変化に早めに気付き、無理をせず休養をとることも大切な予防につながります。園ご家庭が連携しながら、元気になを乗り越えられるよう、一人ひとりの健康を守つていきましょう。また、健康診断の結果をお渡ししています。健診では、子どもたちの発育や健康状態を確認し、早期発見・早期対応につなげることを目的としています。結果をもとに、ご家庭でも生活習慣や体調の変化に目を向けていただき、引き続き健康な毎日を送れるようご協力を願っています。園ご家庭が連携しながら、元気に冬を乗り越えられるよう、一人ひとりの健康を大切に守っていきましょう。

（以上、保育士 稲留）

（以上、保育士 諸隈）



給食便り

給食室の衛生管理について

給食室では、子どもたちが安心しておいしい給食を食べられるよう、毎日の衛生管理を徹底しています。

今回は、日頃取り組んでいる衛生管理の一部をご紹介します。

- これから寒くなるにつれ、食中毒が流行る時期となります。給食室では、日々の衛生管理をより一層徹底して、安心安全な給食作りに努めてまいります。



爪の間も丁寧に洗う



十一月の献立より ひじきの煮物

【調味料】

<input type="checkbox"/> 酒・みりん・砂糖…各五グラム	<input type="checkbox"/> 濃口醤油……………三グラム
<input type="checkbox"/> 薄口醤油……………四グラム	<input type="checkbox"/> 油……………一〇グラム
<input type="checkbox"/> 乾燥ひじき……………一〇グラム	<input type="checkbox"/> 鶏もも肉……………五グラム
<input type="checkbox"/> 人参……………六〇グラム	<input type="checkbox"/> あさり水煮缶……………五〇グラム
<input type="checkbox"/> いんげん……………一五グラム	<input type="checkbox"/> 鶏もも肉……………五グラム



【下準備】

ひじきは水にさらして戻しておく。

【作り方】

- ①人参はいちょう切りにし、鶏もも肉は細かく切り、いんげんは一センチ幅に切る。
 - ②フライパンに油を敷き、①を炒める。
 - ③全体に軽く火が通つたら、ひじきを加えてさらに炒める。
 - ④具材が軽く浸る程度の水を加えて煮込み、火が通つたら調味料を加える。弱火で約十分煮て、完成です。
- ひじきは、鉄分やカルシウムなどが豊富に含まれています。園では、煮物だけでなく、ごはんやハンバーグなどにも混ぜて提供しています。ご家庭でも、ぜひ色々な料理にひじきを取り入れてみてください。
- (以上、栄養士 川田原)

御所季の子保育園のおともだち

ホツと!!スナップコーナー



手型が広げる みんなのクリスマスツリー

12月は、子どもたちが楽しみにしているクリスマスの季節です。朝は、子どもたちが自然とクリスマスの歌を口ずさみ始めます。その歌声に合わせて曲を流すと、子どもたちはますます楽しそうに歌っています。今月は、子どもたちの手型でつくる大きなクリスマスツリー製作に取り組みました。絵の具で「ぺったん」と押した手型が重なるたびに、ツリーはどんどん立派に！タンポで夜空や雪を描き、背景も子どもたちらしい温かい雰囲気に仕上りました。



また、大きさの違う手型の向きを「こっちかな？」「反対だね」と一枚いちまい確かめながら、指先が木の下の方に来るように貼ったり、手型を重ねて貼ることで葉のボリュームを出したりと、さまざまな工夫をしていました。

タンポに絵の具を付け、画用紙に連続して叩きつけたり、強く押したり、同じ場所に何度も押し付けたりしながら、色が薄くなったり濃くなったりする変化に気付いて夢中になっていました。



サンタさん見ててね…

サンタさんが来ることを願い、子どもたちはブーツや鈴の形をしたカードに、お願いしたいプレゼントを書いて飾り付けました。「一番上に付けないとサンタさん気付かないよ」「ちゃんと名前を書かないと」と友だちに声を掛け合う姿も見られ、微笑ましい気持ちになりました。また、お家の人と一緒に飾り付けを楽しむ様子からも、温かな時間が流れていることを感じました。みんなの願いがつまった特別なツリーは、クリスマスまで保育室を明るく賑わせてくれています。



(以上、保育士 岩井迫)

Gは御所のG。Kは風の子のK。Mは季の子、未来のM。ここでは、各施設に関する様々な情報を送ります。



お話し会 ～聞く力・感じる力を育てる～

御所季の子保育園では、毎月、外部の読み聞かせボランティアの方をお招きして『お話し会』を行っています。絵本や紙芝居、手遊びなど、子どもたちの発達に合わせた楽しい内容で、物語の世界をゆっくり味わう時間です。



お話し会を通して子どもたちが豊かに育つ…

人と繋がりを感じる

読み手の声や表情を通して、『人に語ってもらう』『人と気持ちを共有する』心地よさを感じることができます。このやり取りが、安心感や信頼感を育みます。



言葉の力を育てる

繰り返し聞くことで語彙が増え、言葉のリズムを感じ取れるようになり、心の発達にも大きな影響を与えます。こうした積み重ねが、やがて豊かな表現力へとつながっていきます。

集中力・聞く力を養う

絵本を読む時間は短くても、話に耳を傾ける姿勢を少しずつ身につけていく大切な時間です。集団で聞く経験は、友だちと過ごす心地よさを感じるきっかけにもなります。



外部の方との関わりを通して新しい言葉や表現に出会い、心が豊かに広がります。絵本を楽しいものとして感じることで、「本っておもしろい」「また聞きたい」「自分でも読みたい」と思えるようになり、後の読書習慣や学ぶ意欲にもつながります。これからも、子どもたちが絵本を身近に感じ、物語を楽しむ心を育てていけるよう取り組んでいきます。

(以上、広報グループ)



寒さが厳しくなる時期ですが、皆さまも温かく過ごせる時間をどうぞ大切に。来年も、穏やかで心安らぐ日々が続きますよう願っております。

(岩井迫)

編集後記